令和５年２月

　各　会　員　　殿

一般社団法人大分県建設業協会

社会人基礎研修の実施について

　平素より協会運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

　さて、当協会では、建設産業における担い手の確保、育成の観点から、会員企業の就職内定者および新入社員等の方々を対象として、個社では困難な就職準備等のための研修を実施し、社会人としての基本の習得、労働安全衛生に対する理解、入社前の不安解消等に努め、受講者が建設業界に定着する一助となることを目的として、標記の研修について下記のとおり実施いたします。

　つきましては、研修の実施要領等を当協会のホームページに掲載していますので詳細をご覧いただき、貴社の新入社員等が積極的に参加されますよう、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

　なお、新型コロナウイルス感染症の拡大状況次第では、講座の提供を中止させていただく場合もございますのであらかじめご了承ください。

　本研修につきましては、西日本建設業保証㈱の提供により実施するものであることを申し添えます。

記

1. 研修の概要

（１）研修機関 ： 三田建設技能研修センター

　　　　　　　　 　〒669-1544　兵庫県三田市武庫が丘６－１　TEL：079-564-4745

（宿泊については近隣のホテル（三田サミットホテル）を利用）

（２）対 象 者 ： 建設業協会会員企業の新入社員および入社予定者等

（３）研修期間 ： 令和５年４月２５日（火）～４月２７日（木）３日間

（４）研修内容 ： ①社会人としての基本の習得

　　　　　　②建設現場で働くための基礎知識の習得　等

（５）定　　員 ： ５名

（６）受講費用 ： 無料（受講料・宿泊費・食費も不要、交通費※は開催後会社あて支給）

※「ＪＲ大分駅」から三田建設技能研修センターの最寄り駅である「フラワータウン駅（神戸電鉄）」までの往復交通費を支給します。（一人あたり38,200円）

※同センターまでは各自でお越し下さい。

　２．申込み方法

　　　「受講申込書」を当協会のホームページ（<http://www.oitakenkyo.or.jp>）からダウンロードしていただき、必要事項を記入のうえ、令和５年３月１７日（金）までに当協会事務局宛ＦＡＸにてお送り下さい。

　　　なお、２名以上申し込まれる場合は、それぞれ受講申込書を作成の上、送付願います。

　３．その他

　　（１）募集人数に到達した時点で申込を締め切らせていただきますのでご了承願います。

　　（２）受講決定者には、受講決定通知とともに「社会人基礎研修」実施要領を送付します。

　　（３）受講予定者がコロナ感染等の影響でやむを得ず研修を受講出来なかった場合、最終日程において講義・個人ワーク部分のみにはなりますが、Ｗｅｂ配信を受講できますので、希望される際はお問い合わせください。

【問合せ先】　一般社団法人大分県建設業協会　事務局　担当：平野・松本

　　　　　　　　　TEL　０９７－５３６－４８００　FAX　０９７－５３４－５８２８

 ホームページ　<http://www.oitakenkyo.or.jp>

別添１

令和４年１１月

三田建設技能研修センターにおける新型コロナウイルス感染症対策

三田建設技能研修センターにおいては次の対策を行いながら講習を実施します。

・来所の際のアルコール消毒と検温

・マスク着用の必須

・各教室に消毒用アルコール配置

・机にアクリル板を設置（設置の無い机は1人1卓）

・講師演台にアクリル板の設置

・換気の徹底（窓、扉を常時開けて講習）

・教室利用後（講習終了後）の消毒作業

・食堂の利用人数制限（定数の半分以下）

・所内に「ソーシャルディスタンス」の啓発表示

なお、受講者の皆さんは研修当日の午前中に以下の「健康チェック」のＱＲコードを読み込み、自身の健康状態について回答してください。

以　上

|  |
| --- |
| 兵庫県三田市武庫が丘６丁目１三田建設技能研修センター　　 |

別添２

**社会人基礎研修　カリキュラム**

□１日目（４月２５日）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 項目 | 内容 | 形態 |
| 12:40 | オリエンテーション | 施設の案内等受講する方への注意事項 |  |
| 13:00 | 「仕事に取り組む」姿勢 | ・就職にあたって優先した項目・自分自身について | 講義・個人ワーク |
| 13:40 | 「仕事に取り組む」意識 | ・学生時代との違い・会社とは－会社の目的・自分の会社を分析しましょう・仕事をするうえで求められる意識　 | 講義・個人ワーク |
| 16:00 | 仕事をスムーズに進めるために必要な意識、考え方、行動 | 以下の項目について個人ワークやグループワークを通じて認識を深める例）改善意識、報告・連絡・相談、仕事の優先意識、Plan-Do-Check-Action | 講義・個人ワーク・グループワーク |
| 17:45 | １日目の研修の振り返り |  |  |

１８：００終了予定

□２日目（４月２６日）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 項目 | 内容 | 形態 |
| 9:00 | 社会人として気を付けること | ・コンプライアンス・気をつけたい公共マナー | 講義 |
| 9:20 | 仕事をスムーズに進めるために必要なマナー（基本） | マナーとは・第一印象って大事？・身だしなみチェック・挨拶を見直す（笑顔・発声・お辞儀） | 講義 |
| 10:20 | 仕事をスムーズに進めるために必要なマナー（応用） | 言葉遣いの基本・敬語とは・お客様に対する言葉遣い | 講義・グループ練習 |
| 11:50 | 午前の振り返り |  | 個人ワーク |
| 12:00 | 昼　　食 |  |  |
| 13:00 | オリエンテーション | 講師自己紹介、受講者自己紹介と将来の夢、目標 |  |
| 13:50 | 建設業就職者、社会人として大切なこと | 建設業に携わる者として心得ておくべき大切な項目 | 講義 |
| 15:10 | ・建設業の施工体制・工事の流れ・生産性向上 | 工事工程表を基に建設業の施工体制と工事の流れ、生産性の向上に必要な項目 | 講義 |
| 16:20 | 建設現場の安全 | 「安全第一」の必要性と安全管理体制 | 講義 |

　１８：００終了予定

□３日目（４月２７日）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 項目 | 内容 | 形態 |
| 9:00 | 社外のお客様との接し方１ | ・名刺の重要性・名刺交換 | 講義・実習 |
| 9:30 | 社外のお客様との接し方２ | 電話応対の基本（固定電話）・電話の取り次ぎ・伝言を聞く・こんな時どうする、電話応対、スマートフォンの使い方の注意点・この程度、という使い方が犯罪に | 講義・グループ練習 |
| 11:30 | コミュニケーションの重要性 | コミュニケーションをとるときの基本的な気持ちの持ち方オンラインミーティングの使用について・自分たちで考える問題点・対処の仕方 | 講義・グループ練習 |
| 12:00 | 昼　　食 |  |  |
| 13:00 | コミュニケーションの重要性 | 現場近くの住民の方とのコミュニケーションについて考えましょう・当初の説明と異なる工事について・騒音、粉塵のクレームについて・工事が終わったからと気持ちが緩んで大失敗等 | 講義・グループワーク |
| 14:30 | 研修のまとめ | ～研修で学んだことを実践するために～・行動計画書作成　等 | 講義・個人ワーク |
| 15:00 | 閉講式 | 修了証書授与日誌、アンケート記入 |  |

１５:３０　終了予定

※参加人数、進捗状況により一部カリキュラムの進め方が変更になる場合があります。

※新型コロナの感染状況等によりグループワークの規模を見直す場合があります。

※オリエンテーションから閉講式までが一連のカリキュラムとなっておりますので、必ず全カリキュラムにご参加願います。

別添３

申込締切日：令和５年３月１７日

令和５年　　月　　日

一般社団法人大分県建設業協会　宛

（FAX　０９７－５３４－５８２８）

会社名

担当者

連絡先

|  |
| --- |
| **研修の概要** |
| 研修の名称 | 社会人基礎研修 |
| 日　　　　程 | 令和５年４月２５日（火）～　４月２７日（木） |
| 主　　　　催 | 一般社団法人大分県建設業協会（提供：西日本建設業保証株式会社） |
| 研修実施機関 | 職業訓練法人近畿建設技能研修協会　三田建設技能研修センター |
| 研修実施場所 | 三田建設技能研修センター（兵庫県三田市武庫が丘６－１） |
| **受講希望者記入欄** |
| フ リ ガ ナ |  |
| 氏　　　　名 |  |
| 生 年 月 日 | 　　　　　　　年　　　月　　　日　　　　　男　・　女 |
| 住　　　　所 | 〒 |
| 連　 絡 　先 | ℡ |
| 宿 泊 手 配（前・後泊含む） | 研修時の宿泊　（　要・不要　）※移動手段の都合上、前・後泊が必要な場合は以下を記入してください。　【前　泊】　（　要・不要　）　【後　泊】　（　要・不要　） |

「社会人基礎研修」受講申込書

（ご注意事項）

　　ご記入いただいた内容は、本研修の利用目的のために、その範囲内で使用し、職業訓練法人近畿建設技能研修協会、三田建設技能研修センター以外の第三者には提供いたしません。